

1 事業概要

事務事業名		地域周産期システム構築事業【新規】		課名	経営企画課	事業No.	380
				会計	病院事業会計		
				事業区分	政策	実施区分	単年度
				開始	H30	終了	H30
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	分野別計画			飯田市立病院中期計画			
				飯田市立病院新改革プラン			
法令・例規等							
事業目的		対象	飯田・下伊那（二次医療圏）の妊婦（里帰り出産含む）				
		意図	地域内医療機関の高度な連携のもとで安全安心に出産することができる。				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	当医療圏では分娩と健診を地域内で分担して周産期医療体制を守ってきましたが、平成28年に市内産科クリニックが閉鎖して以来、飯田市立病院が唯一の分娩医療機関として年間1,000件を超える分娩に対応している状況です。医療機関の情報共有には独自の紙製共通カルテを活用してきましたが、妊婦の状況が多様化していることや、分娩施設が一院のみで多忙を極めていることから、安全な分娩のためにカルテの電子化が必要となっていました。今後も安心安全な分娩環境を維持していくために、分娩施設と健診施設の妊婦情報を電子的に連携し、処方、検査、画像情報等を正確かつ連続的に蓄積し共有するシステムを構築しました。		周産期電子カルテシステム整備				36,364	
			周産期地域ICTネットワークシステム構築				8,370	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	飯田市立病院の分娩中カルテ連携した割合	%			0			
30年度 決算 (千円)	予算額	49,700	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	44,734	(県) 地域医療介護総合確保基金事業補助金(1/3)					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(地) 病院事業(充当率100%)				
		県支出金	14,911					
		地方債	29,823					
		その他	0					
一般財源	0							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	72	1	1	2	2	0	49,700	44,734	システム購入費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		分娩施設と健診施設の妊婦情報を電子的に連携し、処方、検査、画像情報等を正確かつ連続的に蓄積、共有するために、当院に基幹となる電子カルテシステムを構築し、併せて周辺施設と連携するためのネットワークシステムを構築しました。平成29年度時点では30年度中に運用開始する予定でしたが、連携施設においてシステム構築等に時間を要したことで、全体のシステム運用は令和元年度開始となりました。							
上記の課題解決のための有効策		当院の基幹システム及び連携サーバについては平成30年度中に運用可能となっていますので、連携施設（6件）と運用に向けた取り組みを進めます。							
次年度に向けての取り組み		連携施設（6件）と運用に向けた取り組みを進め、実運用を開始します。							